広報

わかさ

Public-relations Wakasa

「WALKING! RUNNING! CYCLING!」 in WAKASA

7

2012

No.87

第21回 若狭・三方五湖 ツーデーマーチ

5月19日と20日の2日間、第21回若狭・三方五湖ツーデーマーチが三方グラウンドを主会場として開催されました。

若狭・三方五湖ツーデーマーチは、国内で開催されているウォーキング大会の中でも最上位の日本マーチングリーグに加盟しており、三方五湖や瓜割の滝などの自然景観、また熊川宿など歴史景観が素晴らしい大会として、ウォーキング愛好家から好評を得ています。

【写真】
①出発の掛け声をかける熊川小学校の児童ら
②チェックポイントでスタンプを押してもらう児童ら
③元気にスタートする鳥羽小学校の児童ら

当日は、町内をはじめ全国各地から延べ5,311人が参加し、五月晴れの空の下、参加者らは愛好家同士、または家族や友人たちと一緒に会話に花を咲かせながら、笑顔でウォーキングを楽しみました。

また、今回の大会では、ウォーキングウェアの着こなしなど、おしゃれなウォーカーを投票で選ぶ「ベストドレッサー」も行われ、参加者は、魅せるウォーキングとしても今回の大会を楽しめたのではないでしょうか。

Best Dresser

▲（左）水永 薫音ちゃん
（右）水永 翔耀くん
（若狭町気山）

▼井出 弘記さん
（長崎県佐世保市）

▼沢田さんファミリー
（鳥取県岩美町）

【写真】
④舞鶴若狭自動車道の鈴ヶ嶽トンネルの中を歩く参加者
⑤三方石観世音でひと休みする参加者
⑥鯖街道熊川宿を歩く参加者
⑦前日に世久見湾で揚がり、参加者に振る舞われたマグロの刺身
⑧下吉田で参加者に振る舞われたおにぎり
⑨気山公民館で住民との触れ合いを楽しむ 参加者

みんなで歩こう Project

福井県では、県民の皆さんにウォーキングに取り組んでもらおうと、「みんなで歩こう Project」を実施しています。

この取り組みは、県内で開催されるウォーキング大会に 3 回以上参加された方に、抽選で景品がプレゼントされるというものです。

ウォーキングは、誰でも手軽にできる“運動”で、生活習慣病や認知症の予防、身体機能の維持などに効果があるとされていますので、この機会にぜひ歩いてみませんか。

【イベント参加部門】

■参加方法

対象となるウォーキングイベントのいずれかに 3 回以上参加してください。

■実施期間

平成 23 年 5 月～平成 25 年 2 月

■応募方法

住所、氏名、年齢、性別、電話番号、E-mail、参加したイベント名を記入し、また参加したことを証明書（完歩証や参加証、参加費の領収書など）の写しを同封のうえ、県健康増進課まで郵送で応募ください。

■その他

他にも、歩数を記録する個人部門やチーム部門もあります。詳しくはインターネットで検索するか、県健康増進課までお問い合わせください。

●問い合わせ

福井県健康増進課　TEL 0776-20-0350

ホームページ　みんなで歩こう Project　検索

走れ　わかさ路　ひろがれ未来！

わかさあじさいマラソン

WAKASA AJISAI MARATHON

6月3日に野木小学校グラウンドを主会場に、「第8回わかさあじさいマラソン」が開催されました。

この大会は、2km、3km、5km、10kmハーフの5コース15部門で行われ、このうち10kmとハーフの2コースは日本陸上競技連盟の公認コースとなっており、町内をはじめ全国各地から参加した2,423人が初夏の若狭路を快走しました。

■ 2km　親子ファミリー

順位	氏　名	住　所
1	佐古田　弘幸・遊	京都府
2	中野　崇史・陸	大阪府
3	浦川　雄次・尚樹	京都府
4	窪坂　衛・啓吾	若狭町

◀窪坂　衛さん・啓吾くん（三宅）

来年は3kmの部で表彰台目指して頑張りたいです。

■ 2km　50歳以上男子

順位	氏　名	住　所
1	熊谷　和彦	兵庫県
2	斉藤　謙二	愛知県
3	林　雅浩	小浜市

■ 3km　小学男子

順位	氏　名	住　所
1	中野　裕太	大阪府
2	塚本　瑞人	若狭町
3	大戸　隆正	京都府

▶塚本 瑞人くん（仮屋）

去年は4位、もっと練習して優勝を狙いたい。

■ 3km　小学女子

順位	氏　名	住　所
1	臼井　涼乃	滋賀県
2	若井　美沙希	大阪府
3	今村　天音	愛知県

■ 3km　中学女子

順位	氏　名	住　所
1	河津　みらい	兵庫県
2	太田　梨菜	大阪府
3	鷹觜　圭代	大阪府

■ 3km　一般女子

順位	氏　名	住　所
1	野原　千里	美方高校
2	川島　佳子	美方高校
3	綱島　玲実	—
4	澤村　神奈	美方高校

もっと練習して、全国に通用する選手になりたい。

▲左から澤村神奈さん、野原千里さん、川島佳子さん（美方高校駅伝部）

■ 3km　30歳以上男子

順位	氏　名	住　所
1	高杉　泰範	岡山県
2	原田　慎也	埼玉県
3	松江　賢二	大阪府

■ 5km　一般女子

順位	氏　名	住　所
1	百瀬　綾子	京都府
2	國枝　裕美	京都府
3	川本　盛子	滋賀県

（敬称省略）

■ 5km　中学男子

順位	氏　　名	住　所
1	新宮 涼介	京都府
2	桑原 匠矢	兵庫県
3	河津 優樹	兵庫県
4	田邉 哲史	若狭町

▶田邉 哲史さん（下タ中）

去年より順位が上がったが、表彰台に乗れず残念です。

■ 5km　39 歳以下男子

順位	氏　　名	住　所
1	中井 芳聡	京都府
2	中江　誠	京都府
3	福田 教人	敦賀市
4	前田 健吾	美方高校
6	山﨑 達哉	美方高校

風が強かった。駅伝大会に向けて力をつけていきたい。

▲左から山﨑達哉さん、前田健吾さん（美方高校駅伝部）

■ 5km　40 歳以上男子

順位	氏　　名	住　所
1	関目　正	滋賀県
2	隠岐 志郎	美浜町
3	山本 淳史	京都府

■ 10km　一般男子

順位	氏　　名	住　所
1	山口 信之	滋賀県
2	増田 峰之	敦賀市
3	中積 佑斗	小浜市
6	橋元 亮助	若狭町

▶橋元 亮助さん（瓜生）

前半は風で遅れたが、後半の追い風は走りやすかった。

■ 10km　一般女子

順位	氏　　名	住　所
1	高橋 佑子	京都府
2	甲斐 あや	京都府
3	青島 育美	愛知県

■ハーフ　一般男子

順位	氏　　名	住　所
1	田尻 貴雄	大阪府
2	井上 孝信	兵庫県
3	水野 真宏	愛知県

■ハーフ　一般女子

順位	氏　　名	住　所
1	古家 雅恵	滋賀県
2	飯田 直子	京都府
3	太田 美紀子	京都府

（敬称省略）

緑がいっぱいのコースで、途中で写真を撮りながら走りました。

▲大南姉妹（左から敬美さん・博美さん）

まちの話題

※広報紙に「あなた」の写真が写っていましたらご連絡ください。写真をさしあげます。（総務課 TEL45-9109）

◀児童らに説明するセンターの職員

▶三方五湖に生息する生き物のパンフレットを見る児童

三方五湖の生き物を学ぼう（5/18）

三方五湖の生き物についての授業が三方小学校で行われ、4年生の児童21人が、三方五湖に生息している魚の種類や生息場所などについて学びました。

授業では、福井県海浜自然センターの前田英章さんと小掘徳広さんから、水質の違いで生息する魚の種類が変わることや、三方五湖は希少な魚が生息する環境であることを学びました。

児童らは「ブラックバスが、なぜ三方五湖にいるの？」と、真剣な表情で職員に質問をするなど、三方五湖の生き物に関心を示していました。

アニメにも歴史（5/22～7/16）

企画展「町民コレクター展その1～アニメ雑誌のふろく～」が若狭町歴史文化館で始まりました。

この企画展は、町内のコレクターが所有する様々なコレクションを展示することで、住民が同館へ足を運びやすくするように企画されたものです。

今回は、懐かしいアニメ雑誌やその付録をコレクションしている町内のコレクターに協力してもらい、1970～1980年代のアニメ雑誌や付録のポスターなど約300点が展示してあります。

展示品の中には、貴重な劇場版アニメの台本なども展示されており、当時のアニメを知る方には大変興味深いものになっています。

同展は、7月16日まで開催されています。

▲展示品を眺める来館者

▲元気な掛け声で練り歩く子どもたち

サンヨーレー、オーサンヨーレー（5/26）

玉置区で田の神祭りが行われました。

田の神祭りは、上中地域のいくつかの集落でも行われており、田植え作業が終わる頃に五穀豊穣を願って子どもたちが「サンヨーレー、オーサンヨーレー」と元気な掛け声を上げながら神輿を引き、集落内を練り歩くものです。

玉置区では中学1年生までの44人の児童・生徒らが熊野神社を出発して、約50戸の家々を川下側から回りました。

訪れた家では区民が神輿にお供えをして、秋の豊かな実りを願いました。

文化遺産を活かそう（5/27）

▲講演する中島さん

若狭町伝統文化保存協会主催による講演会が若狭町歴史文化館で行われました。

講演会には、文化庁文化財部伝統文化課の中島充伸課長補佐を講師として招き、「全国の文化遺産を活かした新しい取り組み」と題して、観光振興や地域活性化に取り組んでいる全国の事例や事業内容についての講演が行われました。

中島さんは、「若狭町は全国的にも先進的な取り組みをしている。多くの人から意見を聞いて、全国の自治体が真似できないような取り組みができるよう期待している」と、講演会に訪れた約 70 人の参加者に、町の文化遺産のさらなる活用について訴えかけました。

ほのぼの大学開講（5/29）

町の教育委員会が生涯学習として開催している「ほのぼの大学」が開講し、今年度最初の講座が中央公民館で行われました。

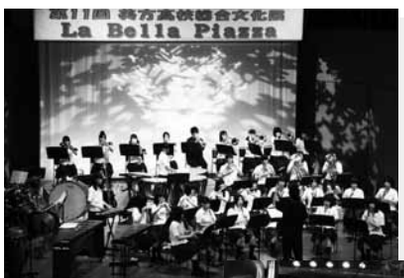
今回の講座は、県教育庁生涯学習・文化財課の今村公一主任から白川文字学について学びました。

講座では、白川文字学の研究者である白川静博士のことや漢字の成り立ちなどについての説明を受け、受講生らは「なるほどな～」と漢字への理解を深めていました。

今年度のほのぼの大学では、福祉健康講座や須恵野焼講座など 11 月中旬まで開催される予定です。

▲白川文字学を学ぶ受講生ら

文化と芸術の広場（6/2 ～ 10）



◀吹奏楽部による迫力ある演奏

▶生徒が作ったUFOキャッチャーで楽しむ来場者

第 11 回美方高校総合文化展～ラ・ベラ・ピアッツア～がパレア若狭で開催されました。

同展では、同校の美術部や写真部、書道部などの文化部による作品が展示・発表されました。

初日には、合唱部と吹奏楽部のコンサートや各部の催しが行われ、来場者は、生徒たちの発表や作品を楽しみました。

ＵＦＯキャッチャーを製作・発表した理数研究部の藤田正樹さん（3 年）は、「普段、一般の方に作品を見てもらえる機会がないので、こうして楽しんでもらえる姿を見れてうれしい」と話していました。

▲熱戦が繰り広げられた試合

いつまでも野球少年（6/2 ～ 3）

三方五湖還暦野球交流大会が三方グラウンドと上中グラウンドで行われました。

大会には、岐阜県、滋賀県、石川県、福井県から 8 チームが参加し、各試合とも熱戦が繰り広げられました。

地元の美方倶楽部は、残念ながら初戦を落としましたが、敗者戦で草津グリーンズ（滋賀県）を 11 対 1 の大差で破りました。

また、町内の民宿に各チームが宿泊し、グラウンド外でも交流を深めたようです。

試合結果（①優勝、②準優勝、③ 3 位）

① フジフレンズ（岐阜県）
② 岐阜北クラブ（岐阜県）
③ 丹南クラブ（越前市）、高島ＯＢクラブ（滋賀県）

若狭の旬が初出荷（6/7）

特産福井梅の出荷が始まりました。

選果場には、農家が収穫した青梅が運びこまれ、ＪＡの職員がサイズごとに箱へ詰めていきました。

初日となったこの日には初出荷セレモニーが選果場で行われ、梅の里保育園と岬保育所の園児による太鼓の演奏や新しく作られた福井梅のマスコットキャラクターが登場するなどして初出荷を祝いました。

テープカットの後、梅酒や梅ジュースに適した品種「剣先」約 8 トンが、園児や関係者らに見送られて全国の市場へ出荷されていきました。

梅干しに適した品種「紅映（べにさし）」は、6 月 15 日から 7 月 8 日まで出荷されます。

▲園児や関係者に見送られながら出発するトラック

▲挨拶する清水会長

20 年の思いを込めて（6/7）

大鳥羽・杉山トンネル貫通期成同盟会の総会が野木公民館で行われました。

同会は、大鳥羽区と杉山区を結ぶトンネルの整備を進めており、1992 年の結成から今年で 20 周年を迎えました。

同トンネルの延長は約 2.2㎞で、整備後は若狭テクノバレーと舞鶴若狭自動車道の上中インターチェンジを結ぶアクセス道として期待されます。

総会には会員約 50 人が出席し、会長を務める清水利一さん（上野木）が、「悲願の早期実現のため、さらなる取り組みをしていかなければならない」と話し、総会では要望活動など今年度の計画について話し合われました。

◀レスキュー隊による水難救助訓練

▶築廻し工法で土のうを積み上げる団員

水災から住民を守る（6/9）

若狭町水防訓練が縄文ロマンパークで行われ、消防署員や消防団員ら約 240 人が訓練に参加しました。

水防訓練は毎年行われていますが、縄文ロマンパークで行われるのは初めてです。

水防訓練では、杭打ち積土のう工法や築廻し工法など増水時の浸水に備えた訓練が行われ、参加した団員らは、消防署員から技術指導を受けながら土のうを積み上げました。

その後、敦賀消防署のレスキュー隊員による水難救助訓練が鯖川（はす）で行われ、手際良く進められる救助活動の様子を見学しました。

丸木舟と水辺のムラ（6/10）

春季企画展「ユリ遺跡展」の開催にあわせたシンポジウムが若狭三方縄文博物館で行われました。

シンポジウムでは、ユリ遺跡と新潟県の青田遺跡発掘に関する基調報告とパネルディスカッションが行われ、町内外から約 40 人が参加しました。

パネルディスカッションでは、首都大学の山田昌久教授が進行役として、基調報告した同館の小島学芸員と県埋蔵文化財調査センターの清水孝之主任、新潟県文化行政課の荒川隆史専門調査員が意見を交わし、ユリ遺跡から出土した丸木舟の舟底が浅い点から「ヒシの実などを採取するために工夫されていたのではないか」など、当時の生活の様子が語られました。

▲パネルディスカッションで意見を交わすパネリスト

◀プレゼントされた五湖レンジャーのぬりえ

▶保育所に訪れた五湖レンジャー

地域への感謝の気持ち（6/11 ～ 15）

わかさ東商工会青年部が、ご当地ヒーロー「五湖レンジャー」に扮して保育所を訪問しました。

この訪問は、全国の商工会青年部が地域との絆をテーマとして行う「“絆”感謝運動」の一環として行われ、若狭町と美浜町の保育所を訪問し、スケッチブックとクレヨン、五湖レンジャーぬりえが園児にプレゼントされました。

初日に訪れた気山保育所では、五湖レンジャーが音楽とともに園庭に登場し、園児一人ひとりにプレゼントを手渡しました。

園児らは、プレゼントを受け取ると「ありがとう」とお礼を述べ、五湖レンジャーと握手したり、抱き上げてもらったりしていました。